

平成20年度「埼玉大学と市民との共同研究会のテーマ」申請内容

平成20年7月9日

<p>ふりがな 氏名又は 研究会名</p>	<p>きょうどうろうどう きょうどうくみあい ほうせいか しみんかいぎ さいたまじむきょく 「協同労働の協同組合」法制化をめざす市民会議・埼玉事務局</p>
<p>テ ー マ</p>	<p>「協同労働の協同組合」の歴史的・社会的な研究</p>
<p>テーマに関わる 現状と問題点</p>	<p>市民・働く者が資金を拠出し、自らの働く場を創りだすと共に、創りだした事業が、地域の社会的課題を解決していくという、公共的な役割を果たしていく。そのような取り組みが、「協同労働の協同組合」として全国的に広がり始めている。</p> <p>まず、1) 歴史的に、フランスをはじめとした欧州で協同労働という働きがあり古くから法制化の動きもある、2) 日本でも近年、協同労働の運動がおきつつあり、3) 具体的に埼玉県内では介護の分野や食の分野、施設の総合管理の分野で存在し、指定管理者制度を始め自治体からの公共サービスの担い手としても事業を担いはじめている。</p> <p>しかしながら、日本ではいまだに協同労働の社会的認知が乏しく、その可能性が十分に理解されていない。</p> <p>そこで、フランスなどの「協同労働先進国」における協同労働について、歴史的・社会的に研究することを通じて、日本における協同労働の可能性について考察してみたい。</p>
<p>期待する成果</p>	<p>フランスなど「協同労働先進国」における協同労働の協同組合について、歴史的・社会的に研究することを通じて、次のような成果が期待される。</p> <p>すなわち、1) 現在、埼玉県内でなされている協同労働の様々な活動に対する実際的评价が可能になり、より良い働き方につなげていくことができる。さらに、2) 働くことに困難を抱えた人々の就労形態の新たな可能性として、また、3) まちづくりや地域の活性化を担う市民事業における働き方の一つの可能性として、「協同労働の協同組合」を市民に広く提案できる。また、このことを通じて、協同労働の社会的認知も広げることができる。</p>
<p>申請テーマについての活動実績 (参加団体等)</p>	<p>・「協同労働の協同組合」法制化をめざす市民会議・埼玉の活動 「協同労働の協同組合法」地域市民集会 in 熊谷 (2008年6月28日) ・埼玉県北本市議会における、「協同労働の協同組合法の早期制定を求める意見書」の採択 (2007年12月) ・埼玉県議会における「協同労働の協同組合法の早期制定を求める意見書」の採択 (2008年7月)</p>
<p>共同研究担当：埼玉大学教員</p>	<p>教養学部 教授 小林亜子</p>
<p>住 所・連絡先</p>	<p>〒336-0018 埼玉県さいたま市南区南本町2-5-15 M.M.オフィス201号</p>

メンバー一覧表

No	氏 名	所 属
1	もりもと ようじ 守本 洋二	労協センター事業団 東関東事業本部 事務局長、「協同労働の協同組合」法制化をめざす市民会議・埼玉 事務局長
2	くろだ やすお 黒田 康夫	労協センター事業団 埼玉エリア マネージャー
3	いしはら かずこ 石原 和子	労協センター事業団 埼玉エリア 北部担当
4	むらかみ ひろのり 村上 博典	労協センター事業団 埼玉エリア 東部担当
5	いしばし たえこ 石橋 妙子	労協センター事業団 埼玉エリア 西北部担当
6	にしだ かずこ 西田 和子	労協センター事業団 埼玉エリア 中央担当
7	うちの とみお 内野 富夫	さいたま労協クラブ 会長、「協同労働の協同組合」法制化をめざす市民会議・埼玉 会長
8	たしま やすとし 田嶋 康利	協同総合研究所 専務理事
9	おかやす きさぶろう 岡安 喜三郎	協同総合研究所 副理事長
10	すずき ゆういち 鈴木 雄一	埼玉県労働者福祉協議会 専務理事
11	とみざわ けんじ 富沢 賢次	聖学院大学大学院 教授

埼玉大学と市民との共同研究集会

日時：2009年2月21日（土）10時20分～17時30分

（＊交流会、17時45分～19時30分、開催）

会場：埼玉大学 大学会館 3階大集会室

内容：

第1部：研究フォーラム

10時20分開会～12時40分閉会（開場：10時）

- ・テーマ：協同組合の現代的意義 — 国際比較から
- 司会（コーディネータ）：小林亜子氏（埼玉大学 教養学部 教授）
- パネリスト（報告者）：（各30分）
 - ① 田中夏子氏（都留文科大学 文学部社会学科 教授）
「イタリアの社会的協同組合の現状と課題」
 - ② 三浦 敦氏（埼玉大学 教養学部 准教授）
「協同組合における国際的現状と課題」
 - ③ 島村 博氏（協同総合研究所 主任研究員、「協同労働の協同組合」法制化をめざす市民会議 副会長）
「協同労働の協同組合法が創る人と社会の未来」
- ・参加：無 料（メールにてご予約ください。kyodoken@jicr.org）
- ・主催：埼玉大学
- ・共催：「協同労働の協同組合」法制化をめざす市民会議埼玉、
NPO 法人ワーカーズコープ、協同総合研究所

第2部：市民集会

13時30分開会～17時30分閉会（13時開場）

- ・会長挨拶
- ・来賓挨拶と祝電紹介
国会議員、県市議会議員、笹森 清氏（法制化市民会議会長）
- ・基調講演：共生経済と協同労働 — 孤立・分断・貧困を超えて一連帯・協同の共生セクターをめざして、
演者：上井 喜彦氏（埼玉大学 学長）へ打診
- ・パネルディスカッション：
司会（コーディネータ）：山崎敬一氏（埼玉大学 教養学部 教授）
コメンテータ：田中夏子氏（都留文科大学 文学部社会学科 教授）、小林亜子氏（埼玉大学 教養学部 教授）、三浦敦氏（埼玉大学 教養学部 准教授）予定
- パネリスト（報告者）：
 - ① 石橋妙子氏（労協センター事業団 坂戸地域福祉事業所 所長）
「高齢者介護における協同労働の実践と法制化の必要性」
 - ② 小椋真一氏（労協センター事業団 芝山地域福祉事業所 所長）
「若者の自立支援における協同労働の実践と法制化の必要性」
 - ③ 加藤氏を予定（ワーカーズコレクティブ リサイクル café こぶくろ 代表）
「障がい者の就労支援における協同労働の実践と法制化の必要性」
 - ④ 他もう一人を予定（労働者福祉協議会等）

- ・資料代：500 円
- ・主催：「協同労働の協同組合」法制化をめざす市民会議・埼玉
- ・共催：埼玉大学、NPO 法人ワーカーズコープ、協同総合研究所

その他

- ・交流会（17 時 45 分から 19 時 30 分予定）
会場は埼玉大学内の集会所を予定。